

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	ゾニサミドの抗パーキンソン病薬作用機構の解明
代表機関名	学校法人順天堂 順天堂大学
研究開発代表者名	赤松 和土
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000066005.pdf>

2. 総合評価

- ・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、主に遺伝性 PD 患者由来 iPS 細胞を用いて、分化ニューロンの細胞死と表現系を指標にゾニサミドの効果を検証するとともに、先行研究のメタボローム解析と合わせて、ゾニサミドの作用機序を解明する研究である。結果、一部の遺伝性 PD 患者由来細胞で特徴的な表現系が得られており、一定の成果をあげている。しかし、バイオマーカー開発に向けたメタボローム解析からは明確な結果は得られなかった。

今後、今回の成果に基づいて対象サンプル数の積み上げや評価系の再構築などを検討し、パーキンソン病の治療法開発研究をさらに進展して頂きたい。

以上